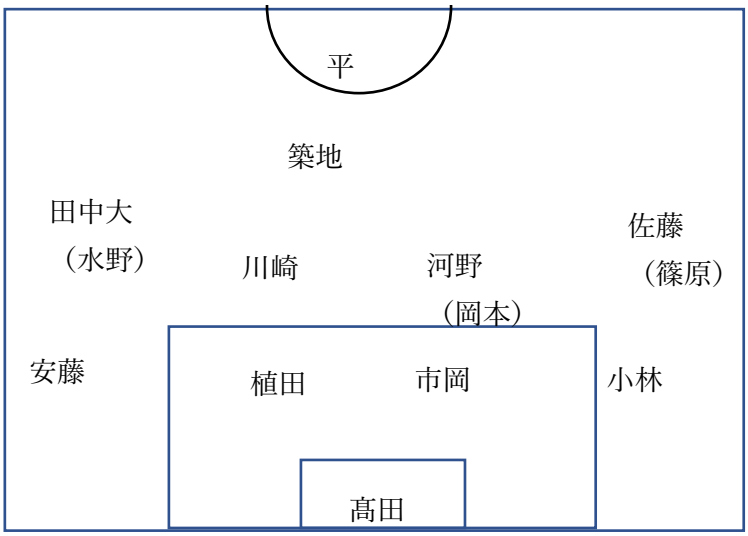
Ｕ－１８サッカーリーグ西尾張地区１部リーグ　第５節

2021/7/10

対　津島高校　　会場：犬山南高校Ｇ

試合結果

丹　羽　0　［0－0　0－0］　0　津　島



前日から未明にかけて雨が降り、高温多湿のため、クーリングブレイク制度（前後半の途中で３分休憩する）を採用してゲームが行われた。

グランドコンディションは良好である。

前節、得点差をつけて勝利した勢いを保って勝利したい一戦であるが、立ち上がりから足元にボールがおさまらず、攻め込まれる場面が続いた。

ＣＢの植田・市岡を中心としたＤＦ陣の体を張った守備で、何とか失点は免れたが、チーム全体として、軽率に足だけでボールを奪おうとしてかわされ

る場面が何度も見られ、個々の選手が基礎的戦術を理解していないことが露呈した。また、試合全体を通してグラウンダーのパスがほとんど見られず、シュートの機会はわずかであった。得点の気配を感じさせたプレーは、トップの平が相手キーパーの飛び出した隙にゴールを狙った場面に限られる。

特に後半３０分を経過してからは、ずるずるとＤＦラインを下げたり、相手ゴール前にクロスボールを上げるべき場面で足元へのパスをしてボールを奪われたりと、サッカーのゲームプランの常道から外れたプレーが目立った。

一生懸命プレーしていることは間違いないが、試合は相手との駆け引きの要素も大きい。勝利をつかむためには、サッカーというスポーツをもっと知ることが必要であろう。

厳しく酷評したが、この試合中、ＧＫ髙田は何度もファインセーブを見せ、見事に自陣ゴールを守った。チームとしても昨年度大敗を喫した相手を無失点に抑えたことは、大きな前進である。３０度を超える猛暑の中、最後まで諦めることなく走り切ることもできた。

新チームがスタートし、３試合を経て１勝２分けと負けは無い。「サッカーを学ぶ」ことにより、狙いをもったプレーで勝利を得る力を身に着けたいものである。

（文章　２年：田中遥斗
監修　部長：若原隆男）